

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 7月 東北分
 (東北6県)」について

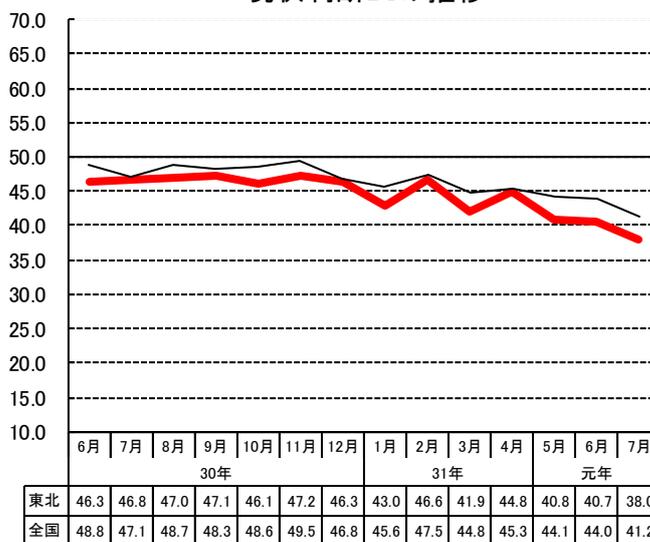
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 7月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「38.0」と3ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲2.7ポイントとやや下回った。

現状判断DIの推移

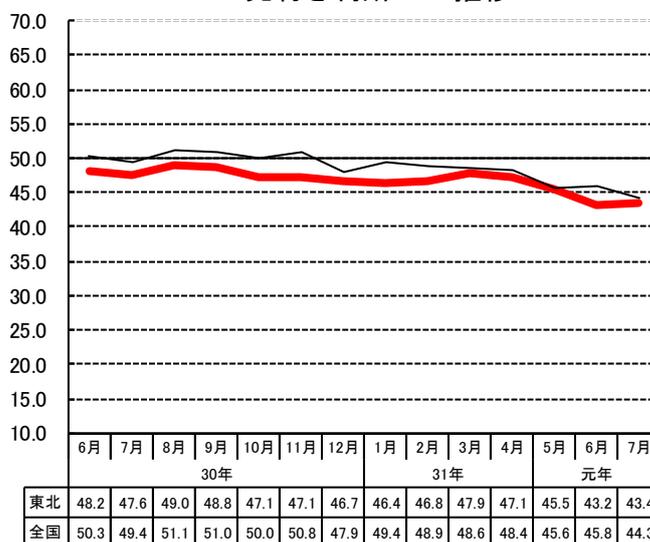


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「43.4」と4ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.2ポイントとわずかに上回った。

先行き判断DIの推移

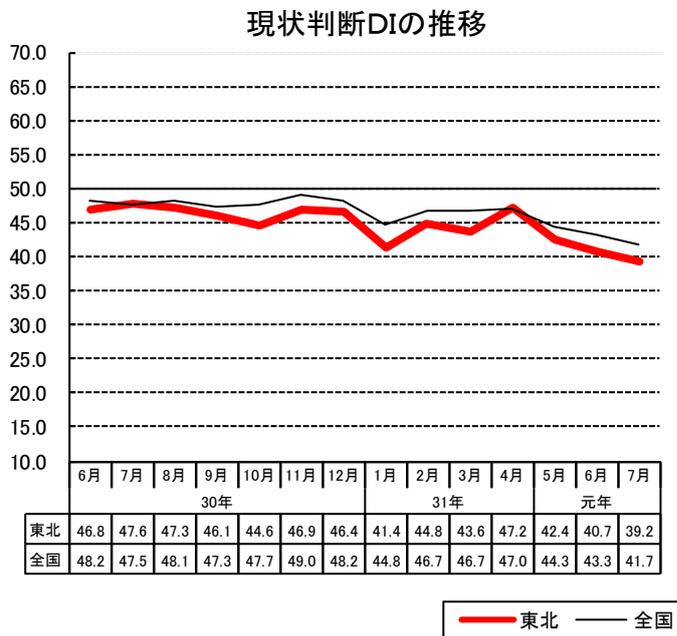


— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「39.2」と3ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.5ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…旅行代理店、一般小売店〔酒類販売店ほか〕、観光型ホテル等の業種でDIが前月を上回ったが、設計事務所、ショッピングセンター、家電量販店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「38.1」(▲1.9)と3ヶ月連続で前月を下回った。

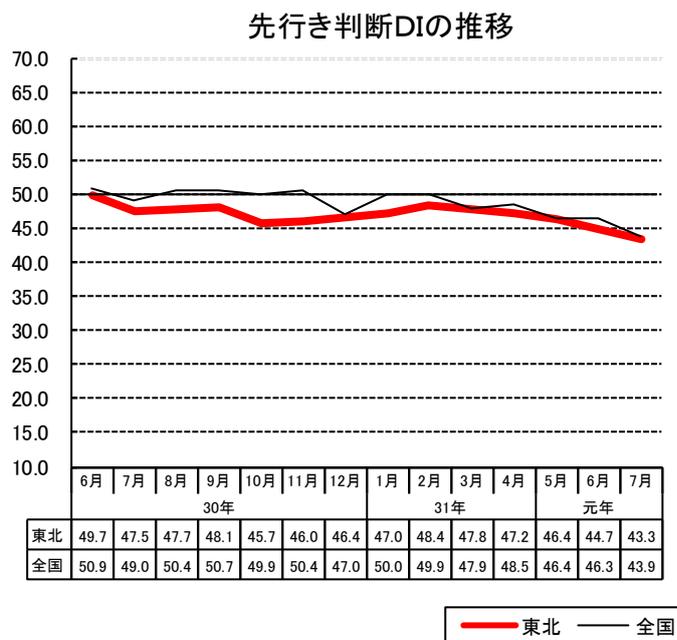
○企業動向関連…コピーサービス業、電気機械器具製造業、建設業等の業種でDIが前月を上回ったが、広告代理店、窯業・土石製品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「40.7」(▲1.2)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「43.4」と、前月と同値、横ばいとなった。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月前の見通し、方向性)

先行き判断DIは「43.3」と5ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…衣料品専門店、通信会社等の業種でDIが前月を上回ったが、一般レストラン、家電量販店、タクシー運転手等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「43.1」(▲1.8)と4ヶ月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業、広告代理店等の業種でDIが前月を下回ったが、窯業・土石製品製造業、金融業、コピーサービス業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「43.6」(+1.0)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「44.7」(▲2.7)と、2ヶ月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	30年							31年				元年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	46.8	47.6	47.3	46.1	44.6	46.9	46.4	41.4	44.8	43.6	47.2	42.4	40.7	39.2
家計動向関連	46.3	46.7	47.7	44.7	42.3	44.7	45.2	39.3	44.1	42.1	47.6	42.1	40.0	38.1
企業動向関連	44.4	45.1	43.2	48.0	46.5	50.0	46.6	42.9	42.1	43.1	46.5	41.4	41.9	40.7
雇用関連(参考)	54.2	57.9	52.6	51.3	55.0	55.0	53.8	51.3	53.8	53.8	45.6	46.3	43.4	43.4

（2）先行き判断D I

	30年							31年				元年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	49.7	47.5	47.7	48.1	45.7	46.0	46.4	47.0	48.4	47.8	47.2	46.4	44.7	43.3
家計動向関連	50.2	46.3	46.6	47.0	45.0	44.9	45.6	47.3	48.5	48.7	48.4	46.0	44.9	43.1
企業動向関連	47.2	48.6	49.3	50.7	45.8	48.6	45.3	43.6	44.1	45.8	43.8	47.1	42.6	43.6
雇用関連(参考)	51.4	52.6	51.3	50.0	50.0	47.5	53.8	51.3	56.3	46.3	45.6	47.5	47.4	44.7

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和 元年 7月 25 日～31 日

回答者数 180/189 名、回答率 95.2%（全国 1,856/2,050 名、90.5%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（旅行代理店）…北海道方面を中心に国内個人旅行が急増している。特に間際での予約が増えている。

○「やや良くなっている」

（人材派遣会社）…求職者数は堅調に推移しているが、まだまだ伸びていく兆しがみえている。

○「変わらない」

（商店街）…7月にタピオカ専門店が商店街内にオープンしている。ふだんの客層は年配者が中心であるが、高校生を中心に若者の来街者が増加している。SNS映えする商品がヒットする傾向にあり、6月の大型店舗閉店の影響をある程度カバーしている。

（酒類販売店）…参議院選挙の影響でお中元ギフトの出足が鈍い。加えて、天候が不安定なためビヤガーデンへの販売量も例年と比較して鈍いスタートとなっている。例年であれば良くなっている時期であるが、今年は厳しい状況である。

（乗用車販売店）…消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待していたが、今のところ特にそのような動きはみられていない。

（住関連専門店）…来客数、売上、販売単価は前年並みで推移している。

（ガソリンスタンド）…気温が不安定であり、販売量が前年を超えることが難しくなっている。特に灯油は前年を下回る見込みである。景気が余り良くないため、軽油の販売量も減少している。

（通信会社）…消費税の引上げ前のため、まだ現状を維持している。

（観光名所）…インバウンドを中心とした団体の来客数が少し減少している。予約のない個人の来客数は伸びているものの、団体客の落ち込み分をカバーするには至っていない。

（住宅販売会社）…新築の受注量の動きは鈍くなってきているが、高額のリフォーム工事受注が増えている。

（食料品製造業）…参議院選挙の影響もあり、お中元は厳しい数字で推移している。また、客単価が下がっていることも心配である。

（建設業）…改修工事における消費税の引上げ前の駆け込み受注も限定的であり、受注量の動きに大きな変動はない。

（金融業）…米中貿易摩擦の不透明感から、企業の設備投資の動きが鈍い。ただし、個人はマイカーローンの申込みが順調である。

（コピーサービス業）…毎月のように物流関係の値上げの知らせが届く。いつまで続くのか予想がつかない状況であり、取引先の理解が得られるか不安である。

○「やや悪くなっている」

（百貨店）…今年は気温が低めに推移していることもあり、夏物クリアランスセールは盛り上がり欠けている。また、この1～2か月で客の生活防衛意識が強まっており、買上単価、買上点数の減少が見受けられている。

（スーパー）…気温の関係もあるが、アイス、飲料、酒が大きく前年を下回っており、店舗合計で前年比が売上 99.4%、来客数 98.1%と厳しい状況となっている。また、消費税の引上げも視野に入れての節約ムードがみられている。

（コンビニ）…天候不順により来客数が大幅に減少しており、売上は前年比で5%減少している。アイスは特に不調で前年比20%の減少となっている。

（衣料品専門店）…今月は暑い日が全くなかったため、半袖シャツや夏物ズボン、夏物礼服などこの時期に売れる商品が動かずに大苦戦している。必要に感じないくらいの気温であることが原因である。

(家電量販店) …梅雨の長雨により、エアコンなどの季節商材の売行きが前年の半分程度になるなど、大幅に落ち込んでいる。また、消費税の引上げを前に客は買物を控えるような動きをしている。

(ショッピングセンター) …梅雨の影響で冷夏が続いており、衣料品の動きが非常に悪くなっている。

(一般レストラン) …今年はゴールデンウィークが長く、その後の落ち込みが大きかった。6月に一度持ち直したものの、7月には選挙や天候不順の影響で再び来客数が落ち込んでいる。特にランチタイムは主婦層を中心に落ち込みが著しい。

(観光型ホテル) …今月は参議院選挙と天候不順の影響で、来客数がかなり減少している。

(都市型ホテル) …天候不順の影響かレストランの売上が厳しい。法人利用の会合も、来月以降の予約の動きが前年に比べて厳しい状況となっている。

(設計事務所) …建築設計における官公庁の落札率が低下してきている。最低制限価格がある場合は約70%程度で維持できているものの、設定がない自治体においては50%前後での受注が多くみられるようになってきている。この水準はほぼ原価であり、目先だけの資金繰りになってきている。また、そのような価格で応札する業者は限られており、各社の状況が垣間みえている。

(窯業・土石製品製造業) …地域間格差があるものの、東北全体としては前年同期比で出荷量が減少している。復興需要の減少と大型物件の工事が少ないことが原因である。

(電気機械器具製造業) …米中貿易摩擦の影響が業績に反映してきており、特に販売量が減少している。

(広告代理店) …参議院選挙による仕事は増えたものの、全体的にみれば仕事量も価格も減少が止まらない状況である。

(新聞社〔求人広告〕) …流通やサービス業を中心に求人低迷が続いている。加えて、参議院選挙での企業の様子見が続く、募集が止まっていたことも要因の1つである。

(専門学校) …以前にも増して、停滞感からの脱却の動きが鈍化しているように見受けられる。

○「悪くなっている」

(タクシー運転手) …ゴールデンウィークの時期から、「節電や節水の徹底、残業はできるだけしないようにと騒ぎだしている」、「総務部がスポーツ新聞の解約をした」、「花があると水を使うので敷地内の植物を処分しアスファルト舗装にした」などの愚痴を客からよく聞くようになっている。

(金属製品製造業) …販売シェアの大きい大手企業が減産をしている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) …地元の祭りにおいて土産物や祭用品による売上を確保し、秋物については消費税の引上げ前に売上を確保するために各企業に売り込みをしている。

(通信会社) …端末販売方法変更に伴う販売量減少のピークは過ぎ、今後は改善していくとみている。

(自動車整備業) …消費税の引上げ前の駆け込み需要もあり、9月までは好調に推移するとみている。

(金融業) …海外直行航空便の増便や、大型観光船の寄港増加などから、当地における夏祭り～紅葉の時期までのインバウンド需要が例年以上となることが期待されている。その取り込みが地元経済にインパクトを与え得るとみている。

○「変わらない」

(百貨店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要は多少増えるともみているものの、客の声からは前回の増税時ほどの動機の強さはみられていない。むしろ、買い控えに働くのではないかと懸念している。

(スーパー) …お盆商材の売上増加を期待しているものの、猛暑による内食率低下が懸念されており、必要な商材しか買わないという傾向が強まるのではないかと懸念されている。また、消費税の引上げ前の駆け込み需要は、耐久消費財に集中して日用品の消費については節約志向になるとみている。

(コンビニ) …消費税の引上げの影響を受けての消費の冷え込みが懸念される。ITの促進のためにポイント還元を中小企業に行う予定であるが、高齢者には受入れにくいとみられており、消費の冷え込みへの歯止めにはならないとみている。

(乗用車販売店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要があるとするれば、今の段階で客の動きに変化が出るはずである。現在の動きが鈍いということは、駆け込み需要もなく、2～3か月先の景気も変わらないということである。

(食料品製造業) …10月の消費税の引上げもあり、個人消費は厳しくなるとみている。

(窯業・土石製品製造業) …地域間格差があるものの、東北全体としては前年同期比で出荷が減少している。復興需要の減少と大型物件の工事が少ないことが原因である。

(広告業協会) …新規イベントや新設の商業施設開業の計画もなく広告的素材に乏しいため、売上の上積みも厳しい状況が続くとみている。また、消費税の引上げ後の消費減速がどの程度のものになるのか予測が難しく、広告出稿の様子を見ず企業が増える可能性がある。

(コピーサービス業) …消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているものの、現段階ではその動きは不透明である。

(人材派遣会社) …同一労働同一賃金の動きによる影響が業界にどう表れるのかがみえないため、特に大きな変化はない見込みである。ただし、次年度の予算組みが発生する下期には動きが出てくるとみている。

○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …生活必需品全般が値上がりしているところに、当店取扱いの主力商品も値上がりしている。さらに、消費税の引上げを控えて消費者心理も悪化していくとみている。

(電気機械器具製造業) …引き続き、中国の取引先に対する販売量減少の影響があり、周囲の景気としてはやや悪くなる見通しである。

(新聞社〔求人広告〕) …消費税の引上げ前の駆け込み需要については、今のところ盛り上がりはみられていない。また、参議院選挙の結果が示すように農業や被災地復興地域の置き去り感が鮮明になっており、地元の景気にもそれが表れている。この傾向はしばらく続くとみている。

(職業安定所) …下請となる自動車関連事業所において、国外工場の現地調達率を高めるために受注量を減少したことを理由として、新規高卒の募集が取消しとなった事案が発生している。製造業などにおいて、世界経済の動きを不安視している様子が見える。

○「悪くなる」

(家電量販店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要があったとしても、増税後の反動減がカバーできるとは考えにくい。平均しても景気は大きく落ち込むとみている。

(一般レストラン) …自分たちの業態はかなり落ち込んでいる。さらに、材料の値上がりや消費税の引上げもあるため、消費がかなり鈍り、景気は悪くなっていくとみている。

(飲食料品卸売業) …地元は水産関係が多く、震災前の半分まで回復することも大変な企業が多い。そのようななか、働き方改革に合わせて手取りが非常に低くなっているため、購買力が弱く、ものが買えないという話をよく聞いている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上